平成 29 年 7 月 5 日発行　毎月 1 回 5 日発行　オイスカ通巻 647 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ

FURUSATO！ 7 月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

地元ＪＡの皆さんとの交流

5月30日の「ゴミゼロ」の日に今年は地元陶支部が担当とのことで、香川県農協綾歌南部地域の青壮年部と女性部の皆さん約50名が清掃活動の途中に休憩を兼ねて研修センターに立ち寄って下さいました。大半の方がセンターを訪れるのは初めてとのこと。先ずはオイスカ及び研修センターの活動について紹介をおこない、その後、研修生を交えて、日頃研修生が実習で作っているシフォンケーキとお茶で懇談しました。最近、地元綾川町内でも技能実習生など外国人が増えてきているなか、短い時間でしたが研修生との触れ合いを通じて四国研修センターで行なっている研修による人材育成について理解をしていただく絶好の機会となりました。（萬代）

まだまだ勉強中の研修生の日本語。簡単な会話には慣れてきましたが、わからない言葉や方言が入ると大慌てです。それでも自分の国や日々の研修のこと、日本の印象など皆さんと楽しく会話していました。これからもよろしくお願いします。

研修生個人畑 ～収穫まであと少し！～

5月1日からスタートした個人畑。畑の計画を立て、畑づくりから種まき、施肥、収穫まで研修生一人ひとりが行います。農業の方面だけでなく自己の管理、時間の管理も学びます。始まって1ヵ月半が経ち、順調にそれぞれの野菜が成長しています。毎朝決まった時間に水やりをする姿や、昼夜の自由時間に草取りをしたりしている姿を見かけます。もうすぐ夏野菜の収穫が待っています。がんばれ、研修生！（中野）

オイスカヤングリーダーズ（OYL）メンバー募集

OYL は発足から半年が過ぎ、竹の子フェス、田植えフェスなどのイベントを行ってきました。今後さらに活動を広げるべく新しいメンバー（45 歳以下）を募集しています。オイスカをもっとよくしたい、地域のために何かをしたい、またいろいろな人と交流をしたいという方も大歓迎です。ご興味のある方は

オイスカ四国研修センター

℡087-876-3333

までご連絡ください。一緒にオイスカを、地域を盛り上げましょう！！

各推進協議会総会 ～交流を通じて相互理解を深める～

5月末から各推進協議会で総会が行われました。7月13日の高知県推進協議会を残して他の総会では活動報告、決算報告共に承認されました。

会では研修生が発表する場を設けて頂き、研修生のそれぞれの国やオイスカセンターの報告を日本語で致しました。まだまだ拙い発表ではありますが、プレゼンテーションを行う意味としても良い経験をさせていただきました。中讃推進協議会では総会前にうちわ作り体験し、丁度その日はモンゴル研修生のネレグィの誕生日ということで中野会長より花束を頂きました。懇親会の場でも会員の皆さまから温かい言葉が研修生に掛けられ、また研修生も日常ではあまり接することのできない方たちの声を聴く良い機会となりました。アトラクションでも研修生の国のダンスを披露しているときに一緒に踊って、会場を盛り上げて頂きました。センター生産物の販売もいつも完売になります。ご協力有難うございます。

普段は研修に追われて、あまりオイスカの組織を見ることができていませんが、懇親の場でも色々なご提案を頂くこともあります。四国支部と研修センターとでオイスカ四国をもっと盛り上げていけるようにアクションしていければと思っております。（矢野）

研修生の国について発表しました。発表することで日本での研修目的を再確認し、皆さまにも状況を知ってもらうことができます。

毎年恒例となったうちわ作り　日本の伝統工芸を体験させてもらっています。

研修生の国のダンスもみんなで踊り、会場が盛り上がりました。

懇親会の席では研修生は自分の事や国について話し、日本語研修の成果を発揮しています。

7 月のイベント予定

7 月 2 日	日	日本語能力試験	国際協力基金・日本国際教育支援協会	四国学院大学
7 月 6 日	木	支部常任幹事会	オイスカ四国支部	オイスカ四国支部
7 月 7 日	金	七夕茶会	羽床自治会	羽床公民館
7 月 8 日	土	どじょう汁交流	飼野上・下自治会	四国研修センター
7 月 13 日	木	高知県推進協議会総会	高知県推進協議会	高知商工会館
7 月 15 日	土	博進子供会キャンプ	博進子供会	四国研修センター

「FURUSATO！」7 月号　発行
公益財団法人オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

OISCA × VALUE BOOKS
古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト

カントリーレポート～わたしの国のこと～

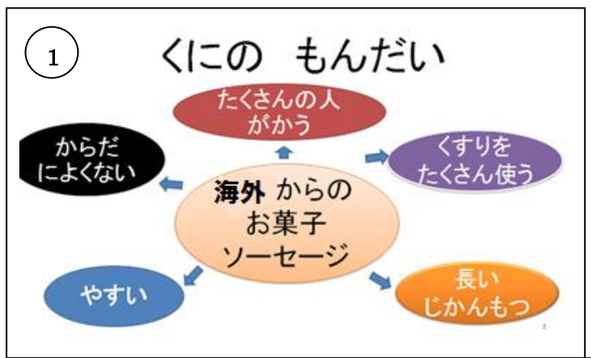
研修生は入所して基礎研修が終わると、カントリーレポートというものを作っています。カントリーレポートではそれぞれの国の基本的な情報や有名なものや産業の紹介、またオイスカ活動の紹介、日本で勉強したいことなどをまとめて報告します。知っているようで知らない自分の国のことを調べて、またそれを日本語で発表するとなると大変な作業です。しかし、多くの人に自分の国を紹介したり、プレゼンテーションの方法を学ぶ良い機会になっています。それぞれ目的をもって日本へ研修に来ているわけですが、それを再認識し、アクションプラン（帰国後の活動計画）をより強固にしていくことができます。ここで今回研修生が作ったレポートの一部をご紹介します。

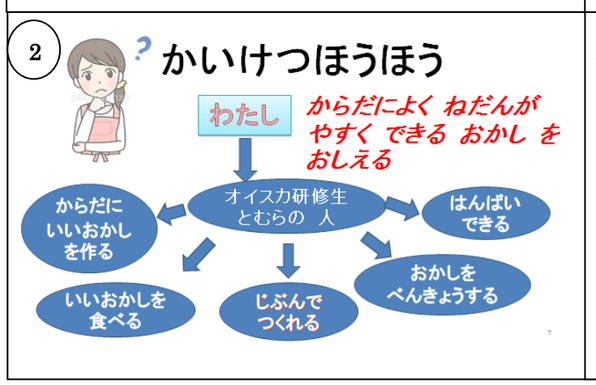
モンゴルの農産業では、麦や５つの野菜（にんじん・じゃがいも・たまねぎ・きゃべつ・かぶ）を多く作っています。また、馬・牛・ヤギ・羊などの牧畜も盛んで、その乳でいろいろな乳製品を作っています。ですから、よく食べるものには肉や小麦を使ったもの、乳製品が多いです。

ネレグィ
（モンゴル）

ス
（ミャンマー）

①ミャンマーの人が食べるお菓子は安さが一番。体にいいかあまり考えません。
②安くて安心して食べられるお菓子があればいいと思います。
③だから日本でいろいろなお菓子を勉強して皆に教えたいです。





Let's challenge!!

飯山北わんぱく楽校交流

6月17日、飯山北コミュニティわんぱく楽校の子どもたちと交流をしました。30人位の小学生と聞いていたので、この日48人の子どもたちと保護者の方も大勢来て、私たちはびっくりしました。私はとても緊張して、少し心配になりました、、、。

はじめに簡単にオイスカのことを説明しました。そのあとは6つのグループに分かれて、研修生が子どもたちに国と自分のことを教えました。その時お父さんお母さんは子どもたちが質問するときにサポートしていて、いい雰囲気だな！と思いました。次に2つゲームをしました。1つはJapanese walkゲーム。首、わきの下、足でうちわをはさみながら歩くゲームです。少し難しかったようですが、皆盛り上がっていました。最後に、センターで飼っているニワトリとヤギ、かいこ、ウサギも見せてあげました。子どもたちは動物と遊ぶのははじめてですからとても楽しいと言っていました。

子どもたちのうれしそうな顔を見て、準備を頑張ってよかったと思いました。（デン）

フィジーの国旗に興味津々！
ママさん説明がんばれー！！

一緒に触れば怖くないよー。
優しく、優しく。

養蚕はじめました！

こんにちは、リッチーです。わたしの出身地はフィリピンのネグロス島です。オイスカが養蚕を行っていることは有名で、たくさんの貧しい農家が養蚕をはじめて、今では生活がよくなりました。わたしは日本に来る前、成長した蚕を農家に配る仕事もしていたので、四国センターでも蚕を育ててみました。去年は少し病気になってしまったので、今年再チャレンジしました。

蚕はだいたい1か月かけて大きくなりまゆを作ります。その間、5つの段階があり、大変な手間がかかります。はじめはとても小さいので、一週間くらいは桑のはっぱを小さく切って蚕にあげます。それから約2週間の間に、2回脱皮して大きくなります。桑もたくさん食べるようになるので、朝昼晩あげないといけません。無事にまゆになった後、中のサナギが羽化しないようにするための乾燥も機械がないので太陽にあてました。1ヵ月の間とても心配でしたが、すごくいいまゆができました。白と黄色の2種類あります。次はまゆから糸を取ろうと思っています。これははじめてなのでできるかわかりませんが…皆さんにも蚕を身近に感じてもらいたいと思いますので、頑張ってみます！

蚕の部屋には苗のトレイを使いました。きれいなまゆになってくれてよかった～。

センターのひよこ

わたしは養鶏の担当をしていて、今2つのことに挑戦しています。1つは鶴骨鶏です。最近センターで飼っている鶴骨鶏（オス2羽、メス3羽）たちがよく卵を産むようになりました。でも販売のためにはもう少し数が必要です。だから卵を温めさせて、今鶴骨鶏のひよこは15羽になりました。もう一つはニワトリの卵の孵化です。センターの卵は有精卵ですので37度で3週間温めるとひよこになります。普段は外からひよこを買っているので、センターでもと思っています。今はニワトリに温めさせるのは難しいので、鶴骨鶏に保卵をお願いしています。毎日の管理は大変ですが、ひよこが元気に成長してくれるように頑張ります！（デン）